

# みやぎ・復興の歩み 5

2011.3.11 - 2016.3.11

ココロアライム



宮城県

# みやぎ・復興の歩み ココロアルバム

# 5

## Contents

- はじめに—— p.2
- 東日本大震災の概況—— p.3
- 宮城県震災復興計画—— p.5
- 復興の進捗状況—— p.6
- 地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）—— p.13
- 地域の復興状況（石巻エリア）—— p.17
- 地域の復興状況（仙台沿岸エリア）—— p.21
- 地域の復興状況（内陸エリア）—— p.25
- みやぎの復興の歩み（年表）—— p.27
- 宮城県への支援状況—— p.29
- 被災者支援情報—— p.30

この冊子は、東日本大震災から5年が経過した宮城の復興の様子と、復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。

### 【右写真】

現在、大規模なかさ上げ工事が進められている南三陸町。住宅や公共施設を安全性の高い場所に配置し、かさ上げ後の土地には、商業施設等を集約（平成28年度中に開業予定）し、にぎわいのあるまちを目指します。



未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年が経過しました。

これまで、多くの皆さまからのご支援、ご協力に支えられながら、県民が一丸となって復興に向けて取り組んでまいりました。改めまして、心から感謝申し上げます。

県内では、JR石巻線と仙石線の全線復旧や常磐自動車道の全線開通により、沿岸被災地の復興に向けた交通基盤の整備が進んだほか、女川町や岩沼市、石巻市などでまちびらきが宣言され、被災したまちに、にぎわいが戻り始めております。また、各地で災害公営住宅が完成し、被災された方々の入居が始まっており、平成28年度末までには、約9割が完成する予定であるなど、震災からの復興は着実に進展しているところであります。

一方で、今もなお、県内外で多くの方々が仮の住まいでの不自由な生活を余儀なくされております。県では、避難生活が長期化している被災者の方々に対して、引き続き心身のケアに取り組むとともに、今後、応急仮設住宅から災害公営住宅などへの移転が進んでいく中で、コミュニティの再生など新たな課題に全力を挙げて取り組んでまいります。

「みやぎ・復興の歩み5」は、平成27年3月から1年間の県内各地の復興の様子や復興に向けて取り組む方々の思いなどを取りまとめたものであります。

復興はまだ道半ばではありますが、多くの皆さまに被災地の今の姿をご覧いただき、引き続き被災地へのご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮城県知事 村井 嘉浩



# 東日本大震災の概況

地震により発生した巨大津波により、県内では1万人を超える死者・行方不明者が生じるとともに、沿岸部の広範囲にわたり未曾有の被害をもたらしました。内陸部においても大きな揺れが約3分間続き、電気、上下水道、ガスなどの被害が広範囲に及び、道路、公共交通機関、通信インフラも大きな被害を受けました。沿岸地域では従来一定の津波対策を行ってききましたが、今回の巨大津波を防ぐことはできず、壊滅的な被害を受け、最大32万人を超える被災者が避難所での生活を余儀なくされました。また、東京電力福島第一原子力発電所が津波被災し、空間に放射性物質が放出されたため、宮城県においても、放射能測定や各種検査などの対応に追われました。



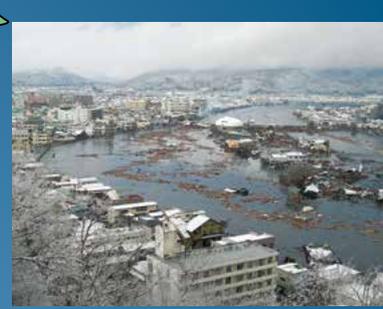
塩竈市



多賀城市



仙台市



石巻市



松島町

発生日時  
**平成23年3月11日(金)**  
**14時46分頃**

震央地名  
**三陸沖(北緯 38.1度、東経 142.5度)**  
牡鹿半島の東約 130km

震源の深さ **約24km**

最大震度 **震度7** (栗原市) マグニチュード **M9.0**



震央

## 被害状況

詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/km-higaizyoukyou.html>

### (1) 人的被害

死者	<b>10,550人</b>
行方不明者	<b>1,238人</b>

死者のうち920人が関連死  
全国の被害者総数の約6割に相当

### (2) 住家被害

全壊	<b>82,999棟</b>
半壊	<b>155,129棟</b>

全国の被害総数の約6割に相当

### (3) 避難の状況

平成23年12月30日  
県内の全避難所が閉鎖

ピーク時(平成23年3月14日)	
<b>1,183施設(35市町村)</b>	
<b>320,885人</b>	

プレハブ仮設住宅入居者	<b>23,132人</b>
民間賃貸借上住宅入居者	<b>20,327人</b>
県外避難者	<b>5,815人</b>

### (4) ライフライン関係被害

平成23年12月11日  
県内のライフラインが全て復旧(津波で流出した地域を除く)

ピーク時	
停電	<b>1,545,494戸</b>
給水支障	<b>35市町村</b>
ガス供給支障	<b>13市町</b>

### (5) 浸水面積 **327km<sup>2</sup>**

青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の6県合計の浸水面積561km<sup>2</sup>の約6割、東京都23区の面積の半分以上に相当

### (6) 地盤沈下

海拔0m以下の面積	<b>56km<sup>2</sup></b>
-----------	-------------------------

震災後増加割合3.4倍

### (7) 被害額の概要

交通関係	<b>103億円</b>	鉄道、バス、離島航路 <small>※東日本旅客鉄道分を含みません。</small>
ライフライン施設	<b>2,394億円</b>	電気、水道、都市ガス、通信・放送施設
保健医療・福祉関係施設	<b>518億円</b>	医療機関、社会福祉施設など
建築物(住宅関係)	<b>5兆0,904億円</b>	
民間施設など	<b>9,906億円</b>	工業、商業、自動車・船舶など
農林水産関係	<b>1兆2,952億円</b>	農業、畜産業、林業、水産業など
公共土木・交通基盤施設	<b>1兆2,568億円</b>	道路、河川、海岸、港湾、下水道など
文教施設	<b>2,112億円</b>	学校、社会教育施設、文化財施設など
廃棄物処理・し尿処理施設	<b>54億円</b>	
その他の公共施設など	<b>764億円</b>	観光施設、消防・警察関係施設、庁舎など
計	<b>9兆2,275億円</b>	

※(1)、(2)、(3)は平成28年2月29日、(7)は平成27年12月10日時点の情報です。  
※(5)東京都23区の面積は622.99平方キロメートル



気仙沼市



女川町



南三陸町



仙台市



七ヶ浜町



岩沼市・名取市



亘理町



山元町



大崎市



白石市



詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/fukkou-keikaku.html>

復興を達成するまでの期間をおおむね 10 年間とし、平成 32 年度を復興の目標に定め、その計画期間を「復旧期」、「再生期」、「発展期」の 3 期に区分します。特に、復旧期の段階から、再生期・発展期に実を結ぶための復興の「種」をまき、ふるさと宮城の復興に結びつけます。

計画期間：10 年間（目標：平成 32 年度）



宮城県の復興

## 基本理念

1. 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
2. 県民一人ひとりが復興の主体・総力を結集した復興
3. 「復旧」にとどまらない抜本的な「再構築」
4. 現代社会の課題を解決する先進的な地域づくり
5. 壊滅的な被害からの復興モデルの構築

平成 26 年 3 月に策定した「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画（再生期）」について、復旧・復興の進捗状況や社会経済情勢を踏まえ、「再生期」の 3 年目を迎える平成 28 年度に向けて一部改訂し、「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画【平成 28 年度版】」を策定しました。

## 復興のポイント

- 1 災害に強いまちづくり宮城モデルの構築
- 2 水産県みやぎの復興
- 3 先進的な農林業の構築
- 4 ものづくり産業の早期復興による「富県宮城の実現」
- 5 多様な魅力を持つみやぎの観光の再生
- 6 地域を包括する保健・医療・福祉の再構築
- 7 再生可能なエネルギーを活用したエコタウンの形成
- 8 災害に強い県土・国土づくりの推進
- 9 未来を担う人材の育成
- 10 復興を支える財源・制度・連携体制の構築

## 県内市町震災復興計画

県内 21 市町においても、地域の実情に応じて震災復興計画を策定しました。

### ■沿岸部市町

自治体名	震災復興計画	策定期間
仙台市	仙台市震災復興計画	平成 23 年 11 月
石巻市	石巻市震災復興基本計画	平成 23 年 12 月
塩竈市	塩竈市震災復興計画	平成 23 年 12 月
気仙沼市	気仙沼市震災復興計画	平成 23 年 10 月
名取市	名取市震災復興計画	平成 23 年 10 月
多賀城市	多賀城市震災復興計画	平成 23 年 12 月
岩沼市	岩沼市震災復興計画マスタープラン	平成 23 年 9 月
東松島市	東松島市復興まちづくり計画	平成 23 年 12 月
亘理町	亘理町震災復興計画	平成 23 年 12 月
山元町	山元町震災復興計画	平成 23 年 12 月
松島町	松島町震災復興計画	平成 23 年 12 月

自治体名	震災復興計画	策定期間
七ヶ浜町	七ヶ浜町震災復興計画	平成 23 年 11 月
利府町	利府町震災復興計画	平成 23 年 12 月
女川町	女川町復興計画	平成 23 年 9 月
南三陸町	南三陸町震災復興計画	平成 23 年 12 月

### ■内陸部市町

白石市	白石市東日本大震災復興計画	平成 23 年 9 月
角田市	角田市震災復旧・復興基本計画	平成 23 年 8 月
登米市	登米市震災復興計画	平成 23 年 12 月
栗原市	栗原市震災復興計画	平成 23 年 12 月
大崎市	大崎市震災復興計画	平成 23 年 10 月
涌谷町	復興まちづくりマスタープラン	平成 24 年 3 月

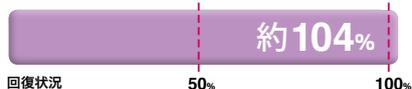
詳しくは <http://www.pref.miyagi.jp/site/hukkousien/keikaku.html>

電気、ガス、水道などの主なライフラインについては、家屋など流出地域を除き、復旧しました。

## ■ コンテナ貨物取扱量 (仙台塩釜港(仙台港区))

H27/1～12のコンテナ貨物取扱量： **225,000 TEU** ※速報値

H22/1～12のコンテナ貨物取扱量： **216,142 TEU**



※ TEU：20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

## ■ 仙台空港利用者数

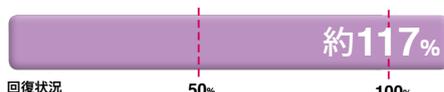
■ 国際線 H27/1～H27/12利用者数： **171,949人**

H22/1～H22/12利用者数： **271,932人**



■ 国内線 H27/1～H27/12利用者数： **2,979,434人**

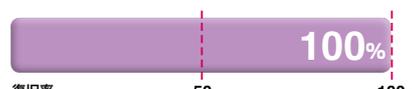
H22/1～H22/12利用者数： **2,554,345人**



## ■ 道路施設 (県管理分の通行規制)

全面通行止解除済箇所数： **137箇所** (H26/4/30現在)

全面通行止箇所数： **137箇所**



## ■ 鉄道 (県内在来線)

運行再開延長： 約 **386km** (H28/2/29現在)

県内の鉄道延長： 約 **456.0km** (震災前)



ロシア極東航路新規開拓 (仙台市)



石巻女川IC、県道石巻女川インター線の開通式 (石巻市)



平成28年7月に民営化する仙台空港 (名取市・岩沼市)



平成28年12月末までに運行再開予定のJR常磐線 (山町町)

宮城県では、復興の進捗状況を毎月11日をめぐりに、県のホームページで発信しています。

宮城県 復興の進捗状況

検索

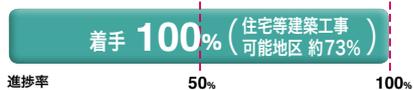
被災者の生活再建を進め、安心して暮らすことのできる良好な生活環境を確保するとともに、環境保全など現代社会を取り巻く諸課題に対応した社会の形成を目指します。

## ■防災集団移転促進事業

造成工事着手等地区 : **195 地区** (H28/2/29現在)

住宅等建築工事可能地区 : **142 地区** (H28/2/29現在)

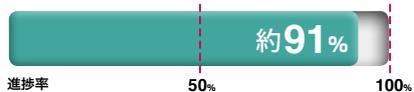
計画地区数 : **195 地区** (H28/2/29現在)



## ■土地区画整理事業

工事着工 : **31 地区** (H28/2/29現在)

計画地区数 : **34 地区** (H28/2/29現在)



## ■津波復興拠点整備事業

工事着工 : **10 地区** (H28/2/29現在)

計画地区数 : **12 地区** (H28/2/29現在)



## ■災害公営住宅

事業着手戸数 : **14,423 戸** (H28/2/29現在)

完成戸数 : **8,659 戸** (H28/2/29現在)

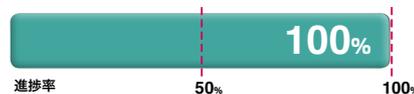
計画戸数 : **15,917 戸** (H28/2/29現在)



## ■災害廃棄物

処理・処分量 : 約 **1,160 万トン** (H26/3/31現在)

沿岸 15 市町の災害廃棄物の推計量 : 約 **1,160 万トン** (H26/3/31現在)



防災集団移転促進事業で整備された美田園北地区 (名取市)



葛蒲田浜地区の災害公営住宅 (七ヶ浜町)



災害公営住宅用地や産業用地を整備する北浜地区 (塩竈市)



かさ上げ道路、防潮堤、防災林等の整備が進められている仙台市東部地域 (仙台市)

被災者の健康を守ることを最優先に考え、地域特性や再建後の地域社会の姿を想定し、地域における保健・医療・福祉の提供体制を回復・充実させます。

## 医療施設（病院・有床診療所）

再開した施設数：**107 施設**（H28/1/31現在）

被災施設数：**108 施設**



## 高齢者福祉施設（入所施設）

再開した施設数：**196 施設**（H28/1/31現在）

被災施設数：**198 施設**



## 障害者福祉施設

再開した施設数：**137 施設**（H28/1/31現在）

被災施設数：**138 施設**



## 保育所（へき地保育所含む）

再開した施設数：**127 施設**（H28/1/31現在）

被災施設数：**135 施設**



## サポートセンター

仮設住宅の見守りや生活・健康相談などを行うサポートセンターを沿岸13市町56箇所に開設（平成27年8月31日現在）

## 子どもの心のケア等

児童相談所、子ども総合センターで構成する「子どもの心のケアチーム」を組織し、巡回相談や医療的ケアに対応

## みやぎ心のケアセンター

心のケア拠点としての「みやぎ心のケアセンター」を設置し、被災者を対象とした訪問支援や相談会などの支援体制を整備

## 宮城県聴覚障害者情報センター（愛称：みみサボみやぎ）

被災した聴覚障害者の生活再建に向けた、相談支援や情報発信等を実施



平成28年夏頃完成予定の石巻市立病院（石巻市）



被災した聴覚障害者の生活再建に向けた取り組み



サポートセンターが支援している、仮設住宅入居者の交流会



平成27年4月から保育が再開された荒浜保育所（巨野町）

ものづくり産業の早期復興と、商業や観光の再生とにぎわいづくり、県民生活を支える雇用の創出を最優先課題として、経済基盤を再構築します。

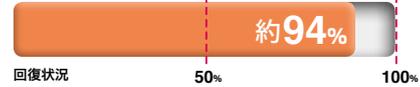
## ■被災工商業者の営業状況

営業継続会員数 : **9,807 会員** (H27/3/31現在)  
 県内 33 商工会 6 商工会議所 の被災会員数 : **11,425 会員** (H27/3/31現在)



## ■観光客入込数

H26 : **5,742 万人**  
 H22 : **6,129 万人**



平成 27 年 3 月にオープンした荒浜にぎわい回廊商店街（巨野町）



観光客誘致に向けた「Sky Journey 仙台・宮城キャンペーン」

## ■県立学校施設（復旧工事）

復旧済施設数 : **87 校** (高等学校 69/73 校  
特別支援学校 18/18 校) (H28/2/29現在)

被災施設数 : **91 校**



## ■県立社会教育施設・県立社会体育施設（復旧工事）

復旧済施設数 : **15 施設** (社会教育施設 10/11 施設  
社会体育施設 5/5 施設) (H28/2/29現在)

被災施設数 : **16 施設**



学校で学ぶすべての子どもたちが、夢と志を持って、安心して学べる教育環境を確保します。

## ■私立学校施設（復旧工事）

復旧済施設数 : **157 施設** (幼稚園 90/95 園  
小中高 29/29 校  
専修・各種 38/38 校) (H28/2/29現在)

被災施設数 : **162 施設**



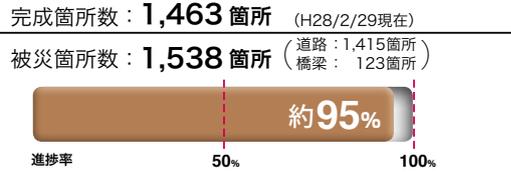
宮城県農業高等学校の仮設校舎（名取市）



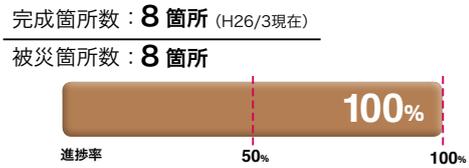
志津川自然の家での海洋活動（南三陸町）

「次世代に豊かさを引き継ぐことのできる持続可能なみやぎの県土づくり」の理念のもと、県民の命と生活を守り、震災を乗り越え、さらなる発展につなげる県土づくりを目指して取り組みます。

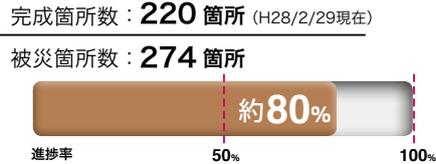
## ■道路・橋梁施設(復旧工事)



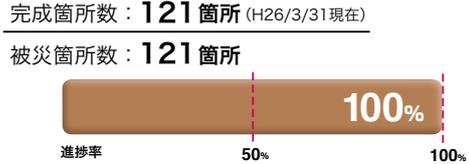
## ■砂防・地滑・急傾斜施設(復旧工事)



## ■河川施設(復旧工事)



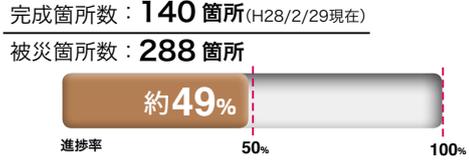
## ■下水道施設(復旧工事)



## ■海岸保全施設(復旧工事)



## ■港湾施設(復旧工事)



定川大橋の復旧工事 (石巻市)



北上運河の復旧工事 (東松島市)



片浜地区海岸の防潮堤工事 (気仙沼市)



女川湾口防波堤の復旧工事 (女川町)

宮城県では、復興の進捗状況を毎月11日をめぐりに、県のホームページで発信しています。

[宮城県 復興の進捗状況](#)

[検索](#)

沿岸部全域を中心に甚大な被害を受けたことから、諸施策の抜本の見直しを含めた大胆な取り組みなどにより、地域経済をけん引する新たな成長産業へとステップアップを図るとともに、宮城県を我が国の食料供給基地として再生します。

## ■農地 (除塩含む)

完成面積 : 約**11,411ha** (H28/2/29現在)  
 復旧対象面積 : 約**13,000ha**



## ■園芸 (園芸用ガラス室・ハウス復旧面積)

復旧面積 : 約**168ha** (H28/2/29現在)  
 復旧対象面積 : 約**178ha**



## ■農業用施設 (排水機場)

完成箇所数 : **43箇所** (H28/2/29現在)  
 被災箇所数 : **47箇所**



## ■畜舎・畜産関連施設 (堆肥センターなど)

復旧済施設数 : **184施設** (H28/2/29現在)  
 復旧予定施設数 : **190施設**



復興交付金事業で整備し、平成27年に震災後初の作付けを実施したほ場 (岩沼市)



県内最大規模のトマト栽培施設が完成 (気仙沼市)



復旧した大堀排水機場 (仙台市)



復旧した農地海岸 (東松島市)

### ■治山施設 (山地・海岸)

完成箇所数 : **8箇所** (H28/2/29現在)

被災箇所数 : **20箇所**



### ■林道施設

完成箇所数 : **61箇所** (H28/2/29現在)

被災箇所数 : **62箇所**



### ■海岸防災林

植栽完成面積 : **162ha** (H28/2/29現在)

復旧対象面積 : **750ha**



### ■漁港 (復旧工事)

完成箇所数 : **543箇所** (H28/2/29現在)

被災箇所数 : **1,437箇所**



### ■漁船

稼働漁船隻数 : **約8,600隻** (H28/2/29現在)

震災前の稼働漁船隻数 : **約9,000隻**

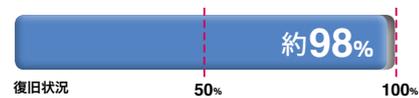


### ■主要魚市場\*の水揚状況

\*塩釜、石巻、女川、南三陸、気仙沼

H27の水揚金額 : **約591億円** (約25万1千トン) (H27/1~H27/12)

H22の水揚金額 : **約602億円** (約32万トン) (H22/1~H22/12)



海岸防災林の整備 (名取市)



平成27年9月に全面運用を再開した石巻魚市場 (石巻市)



再建された宮城県水産技術総合センター種苗生産施設 (七ヶ浜町)



日本有数の生マグロの水揚げを誇る塩釜魚市場 (塩竈市)

宮城県では、復興の進捗状況を毎月11日をめどに、県のホームページで発信しています。

宮城県 復興の進捗状況

検索

# 気仙沼・本吉エリア

気仙沼市 南三陸町



安波山から眺めた5年目のまち並み(気仙沼市)



気仙沼・本吉エリアは、宮城県の北東部に位置し、気仙沼市、南三陸町の1市1町です。

南三陸町では、平成27年10月、高台に校舎を再建した南三陸町戸倉小学校で授業が再開されました。戸倉小学校の校舎完成により、南三陸町の学校教育施設の復旧はすべて完了しました。また、平成27年12月には、津波で全壊した公立志津川病院・南三陸町志津川保健センターが再建され「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」として開設されました。新病院は、外来診療10科と病床数90床を設けています。併設の総合ケアセンターには、保健センターや地域包括センターなどが設置され、医療と保健・福祉の連携による包括的なケアが進められています。

気仙沼市では、気仙沼市魚市場で生鮮カツオの水揚げ量が19年連続日本一となりました。同魚市場では、高度衛生管理に対応した新たな施設の建設が開始されており、平成28年度末に完成する予定です。

インフラ関連では、防災集団移転団地等へアクセスする道路として、平成27年6月に一部開通した「県道気仙沼唐桑線<sup>ひかしもろね</sup>東舞根復興道路(気仙沼市)」については平成27年度末に、平成27年10月に一部開通した「国道398号戸倉復興道路(南三陸町)」についても、平成28年度早々にそれぞれ全線開通となる予定です。

## 気仙沼・本吉エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	1,834人	10,550人
行方不明者	432人	1,238人
全壊	11,626棟	82,999棟
半壊	2,749棟	155,129棟

(平成28年2月29日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	14,094人	8,046人
民間賃貸借上住宅	6,085人	1,635人
計	20,179人	9,681人

(平成28年2月29日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	2,893戸	2,871戸
着手戸数	2,893戸	2,871戸
完了戸数	179戸	720戸

(平成28年2月29日現在)



南三陸病院・総合ケアセンター南三陸(南三陸町)



カツオの水揚げの様子(気仙沼市)

## 気仙沼・本吉エリアの定点観測

### 気仙沼市大谷海岸周辺

防潮堤が損壊し、海岸防災林の多くが流出した大谷海岸は、土のうによる応急対策が行われ、施設復旧と防災林の再生が進められています。



### 気仙沼市魚市場周辺

津波と地盤沈下により大きな被害を受けた魚市場は、土地のかさ上げ工事が進められ、水揚げ量は震災前の約7割以上まで回復しました。



### 気仙沼市唐桑町只越地区周辺

津波によって寸断された道路が復旧し、現在は、防災集団移転促進事業や防潮堤の整備が進められています。



### 南三陸町立志津川中学校からのまち並み

町全体が津波で被災しましたが、かさ上げ工事が進んで、新しいまちの形が少しずつ姿を現し始めています。



### 南三陸町志津川助作地区周辺

道路のかさ上げ工事が進み、また、写真後方の高台では、防災集団移転促進事業による住宅地の造成工事が進められています。



### 南三陸町伊里前地区のまち並み

本設の商業施設を建設するために、仮設商店街を一時移転（写真中央）してかさ上げ工事を進めています。



2015年4月2日 木曜日

## 健やかで暮らしやすい地域を

(気仙沼市)



障がいのある子どもの保護者や子育てに悩む人を対象にしたカウンセリングルーム「陽だまり」がオープンしました。運営する一般社団法人「かもみ〜」代表の小原美佐子さんは、「築いてきたネットワークを生かし、自分たちができることをしたい」と語ります。

2015年5月15日 金曜日

## 母国のために役立ててください

～広がるネパール地震被災地支援～ (気仙沼市)



「東日本大震災では世界中から支援をいただいています。ネパールの人たちのことを放っておくことはできません」「できることで恩返しをしていきたい」。4月25日にネパールで発生した地震の被災地のために、気仙沼市民の間で支援の輪が広がっています。

2015年6月21日 日曜日

## みんなが笑顔になれるプロジェクトを目指しています

(南三陸町、東京都)



震災直後から地域ニーズに合わせた活動を続けてきた MSR smile project の野崎佳世さん。手芸小物など女性の手仕事などを支援しています。「10年後には、東北の女性たちが震災前より幸せになってほしい」と話します。

2015年6月27日 土曜日

## 被災地ツアーで見えてくるもの：南三陸町編

(南三陸町)

震災の跡を訪ねる「南三陸復興ツアー」でガイドを務める社会貢献共同体ユナイテッド・アースの工藤望さん。「忘れられることが怖い、と被災した皆さんは話します。ツアーで人々が来てくれることが、心の支えになっているのです」と語ります。



2015年7月8日 水曜日

## ヘリコプター搬送で遠隔地の医療格差の減少を

(気仙沼市)

気仙沼市から都市部の医療機関へ、患者の搬送や災害時の対応などにヘリコプターを運用している「NPO法人オールラウンドヘリコプター」。メンバーの救急救命士・渡部圭介さんは「医療格差の解決に向けて空から新たな挑戦です」と話します。



2015年7月24日 金曜日

## 開設から46年。新しい夏を迎えた神割崎キャンプ場

(南三陸町)

神割崎キャンプ場が今年、施設をリニューアルしました。3人の若いスタッフのうち1人は、震災を機に大阪から南三陸町に移住して来ました。皆、「この場所を南三陸にやってくる人たちと、地元の人たちとの交流の場にしたい」と張り切っています。



2015年8月4日 火曜日

## 地域の保健室としての役割を担っています

(気仙沼市)



津波で多くの方々が命を失った気仙沼市階上地区で、「NPO法人生活支援プロジェクトK」が「地域の保健室」として活動しています。保健、福祉などの専門スタッフたちが、日常生活の中での困り事や健康に関する相談などを広く受け付けています。

2015年8月21日 金曜日

## 気仙沼に「お米丸」参上！おいしいお米でできている「モノ」知ってる？

(気仙沼市、石巻市、大阪府)

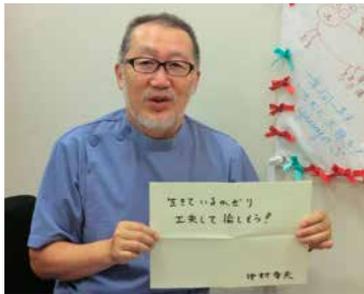


震災の際、被災地に14万食もの食事を届けてくれた「株式会社魚国総本社」の皆さん。今回は気仙沼の子どもたちのために、国産米粉と気仙沼港に水揚げされたマグロの加工品を使用した米粉ピザの試食会や紙芝居を披露してくれました。

2015年8月24日 月曜日

## 生きている間を愉しむためのヒント

(南三陸町)



過疎地域の医療格差と医療資源の疲弊軽減に取り組んでいる医師の中村幸夫さん。震災を機に南三陸町に移って、「超高齢社会を生き続けるための努力の営みを愉しむ」と題し、月に2回ほど町民向けの健康講座を開催しています。

2015年9月9日 水曜日

## 支えて支え合う「仲間たち」のチカラ

(南三陸町)

伊里前福幸商店街で開催された「歌津復興夏まつり2015」。ボランティアの数が徐々に少なくなる中で、震災直後から南三陸町で活動する「NPO法人フェローズ・ウィル」の皆さんが、今年も開催をがっちり支えてくださいました。



2015年10月22日 木曜日

## 被災地に元気を！ バレーボールのトップの選手たちが高校生を指導しました

(気仙沼市)

「バレーボールを通じて、元気を取り戻してほしい」と震災以来気仙沼市民と交流を続けている、株式会社ジェイテクト男子バレーボール部「ジェイテクト STINGS」の選手たち。この日も本吉管内の高校生のためバレーボール教室を開催し、熱心に指導してくれました。



2015年11月10日 火曜日

## 震災から5年！復興はこれから！ 私たちは応援し続けます

(気仙沼市)



大阪、滋賀、静岡、仙台の各弁護士会所属の有志による講演会と法律相談会が気仙沼市で開催されました。代表の大川哲司弁護士は「今回限りで終了と考えていたが、現実を見れば、そうもいかない」と話し、活動の継続に意欲をみせました。

2015年11月30日 月曜日

## 地域資源が循環するエコタウン

南三陸 BIO が完成しました (南三陸町)

復興計画に「バイオマス産業都市構想」を盛り込む南三陸町。10月16日、官民連携で事業化を進めてきたバイオガス施設「南三陸 BIO (ビオ)」が竣工しました。『森・里・海・街の豊かさが循環するまち』の実現の第一歩です。



2015年12月18日 金曜日

## 保健と医療と福祉のまちへ！

「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」落成 (南三陸町)

病院の機能のほか、地域の保健や福祉といった行政サービスの拠点も加えた「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が完成し、11月25日落成式が行われました。地域包括ケアシステムの構築に向け、新たな「福祉のまちづくり」のスタートです。



2016年1月8日 金曜日

## 仮設商店街最後の初売り風景

(気仙沼市)

平成28年10月に閉鎖となる仮設商店街（気仙沼復興商店街紫市場と復興屋台村気仙沼横丁）で、最後の初売りが行われました。「最後までお客さんの笑顔のために働きたい」と女性経営者。「復興のため商人の皆さんにはがんばってほしい」と買い物客。当日は、地元の方や観光客でにぎわいました。



2016年1月27日 水曜日

## 音楽の力も町の復興のエンジンの一つ

(気仙沼市)



気仙沼市を中心に、震災前から音楽で町を元気にしようと活動を行っている三浦喜市さん。震災後は「気仙沼復興商店街南町紫市場」で「きりぎりす」として毎月ライブを開催しています。「音楽を通じて多くの人たちと交流を深め市民の心の復興を後押ししていきたい」と話します。

# 石巻エリア

石巻市 東松島市 女川町



日和山から眺めた5年目のまち並み（石巻市）



石巻エリアは、宮城県の東部に位置し、石巻市、東松島市、女川町の2市1町です。

石巻市では、平成27年9月に再建を進めてきた「石巻魚市場」が全面運用を開始しました。新施設は、岸壁の延長が約880メートルで国内最大規模となりました。また、最新の衛生管理システムを導入して水産物の付加価値を高め、国際的な販路拡大を目指しています。

女川町では、平成27年12月、駅前商業エリアの「まちびらき」が開催され、完成したテナント型商業施設「シーバルピア女川」には、仮設店舗で営業を続けていた商店や、新たに出店する店など27店舗が入居しました。

インフラ関連では、震災以降休止していたJR仙石線の高城町（松島町）―陸前小野（東松島市）間の復旧が完了し、全線で運行が再開されました。特に被害の大きかった東名、野蒜の両駅は、復興まちづくりに合わせ、約500メートル内陸側の高台へ移設されました。また、仙石線と東北本線が接続され、仙台―石巻間を最短52分（震災前から約12分短縮）で結ぶ仙石東北ラインも開業しました。

## 石巻エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	5,290人	10,550人
行方不明者	709人	1,238人
全壊	28,481棟	82,999棟
半壊	18,955棟	155,129棟

〔平成28年2月29日現在〕

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	24,328人	12,098人
民間賃貸借上住宅	22,692人	6,271人
計	47,020人	18,369人

〔平成28年2月29日現在〕

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	5,928戸	6,374戸
着手戸数	4,450戸	4,978戸
完了戸数	976戸	2,950戸

〔平成28年2月29日現在〕



石巻駅での仙石東北ラインの出発式（石巻市）



駅前商業エリアのオープニングセレモニー（女川町）

## 石巻エリアの定点観測

### 石巻市門脇町周辺

「災害に強いまちづくり」を目指し、土地  
区画整理事業が進め  
られています。写真  
奥には、復興祈念公  
園が整備される予  
定です。



### J R石巻駅周辺

被災により休止して  
いる石巻市立病院が  
平成28年夏にJ R  
石巻駅前に移転再  
建されることになり  
、その工事が進め  
られています。



### 石巻市雄勝地区周辺

壊滅的な被害を受け  
た雄勝地区は、被災  
した建物が撤去さ  
れ、新しいまちづ  
くりに向けた整備  
が進められています。



### 東松島市野蒜地区周辺

運河周辺に暮らして  
いた方々の多くは  
、高台で造成工事  
が進められている  
「野蒜北部丘陵地  
区」へ集団移転す  
る予定です。



### 東松島市小野地区周辺

浸水する被害を受け  
ましたが、写真左  
側水路奥では、災  
害公営住宅が整備  
されました。



### 女川町女川浜地区周辺

町の中心部が壊滅  
的な被害を受けま  
したが、J R石巻  
線女川駅の再開  
や駅前商店街の  
オープンなど、復  
興まちづくり事  
業が本格的に進  
んでいます。



2015年3月22日 日曜日

## 女川駅ができるまでのカウントダウン 0

(女川町)



震災から4年が過ぎた3月21日、JR女川駅がめでたく再開してJR石巻線が全線開通となりました。この日を待ちわびていた地元住民はじめ県内外の皆さんが始発から詰め掛け、祝福するような青空のもと式典が

執り行われました。復興への大きな一歩です。

2015年4月7日 火曜日

## 心のケアが大切、「こころスマイルプロジェクト」

(石巻市)

「子どもたちが安心して過ごせる第三の居場所」に。非営利型一般社団法人「こころスマイルプロジェクト」は震災のトラウマから不登校になった子どもたちや家族を亡くして孤立している子どもたちのための居場所「こころスマイルハウス」を開所しました。



2015年5月2日 土曜日

## 秘境が広がる奥松島を回る魅力的な遊覧船

(東松島市)

奥松島にある嵯峨渓は日本三大溪の1つに数えられる景勝地。神秘的な断崖絶壁が魅力です。2013年10月に再開していた奥松島遊覧船に4月20日、新型船「嵯峨みらい」が加わり、ゴールデンウィークで訪れた観光客を楽しませました。



2015年5月27日 水曜日

## 女川町のまちびらきの中で祝福された2人

(女川町)

「新たな女川が芽吹いた春の日に夫婦としての第一歩を踏み出すことをここに誓います」「おながわ復興まちびらき復興祭」のステージイベントの最後は、ウェディングセレモニー。新郎は財務省から女川町に派遣されている応援職員の方です。



2015年6月4日 木曜日

## 「ありがとう！」と「おかえりなさい！」仙石線復活!!

(仙台市、東松島市、石巻市)

5月30日、途中区間の不通が続いていたJR仙石線がついに全線再開しました。石巻駅をはじめ各駅や沿線ではたくさんの人々が始発電車を見守り、車内では「電車に乗るの久しぶりだー。どこで降りるべなー」と乗客の声。復興の大きな一歩です。



2015年7月13日 月曜日

## 女川町の魅力がぎゅっと詰まった「あがいんステーション」

(女川町)

方言の「あがいん(召し上がれ)」と英語の「again(再び)」とで「再び笑顔あふれる街に」「女川のおいしいものを食べてほしい」。駅前地区の商業施設第1号、女川水産業体験館「あがいんステーション」がオープンしました。



2015年7月16日 木曜日

## 映像で女川を体感するまち歩き

(女川町)

女川のかつての姿と復興途上の現在とを見比べることができる映像作品が完成しました。町内5カ所に貼られた「映像で女川を体感するまち歩き」のポスターにスマートフォンをかざすと、過去に撮られた近辺の映像が流れます。女川に来なければ見ることができない映像です。



2015年7月27日 月曜日

## 森と海と温かな人に囲まれた子どもの学び場「MORIUMIUS」7月18日オープン

(石巻市)

旧桑浜小学校の廃校舎を利用して、子どもの学び場「MORIUMIUS(モリウミアス)」が誕生しました。子どもたちの学びの場として、また地元の人たちの集いの場として、そして日本、世界各地から来る人々との交流の場として生まれ変わりました。



2015年10月9日 金曜日

## 3つの道をつなぐ

(石巻市)

「三陸自動車道石巻女川インターチェンジ」「県道石巻女川インター線」が開通しました！救急病院へと続く「命を守る道」。水産拠点・女川の「復興を支える道」。そして石巻トゥモロービジネスタウンなど「拠点を活かす道」。3つの道をつなぐインターチェンジの誕生です。



2015年10月24日 土曜日

## 真の地域づくり～女川町と山元町の交流会

(女川町)

新しいコミュニティを作るために情報交換をと、災害公営住宅の住民同士の交流会が開かれました。「津波を経験した者同士だから、やっぱり思っていることは一緒だなー」新たな励み、新たな絆が生まれ、今後も親交は深まりそうです。



2015年11月12日 木曜日

## 「今」の風景～石巻市～

(石巻市)



震災から4年8カ月。石巻市の中心地区では市立病院や北上川河口に新たに掛かる「新内海橋（仮称）」の工事などが着々と進んでいます。仮設商店街が1カ

所を残して閉鎖された一方、リノベーションによる商業施設も生まれ、街は日々、変化しています。

2015年12月11日 金曜日

## 石巻市・新蛇田地区のまちびらき

(石巻市)

11月3日、石巻市の新蛇田地区で「まちびらき」が開かれました。ここはすでに400世帯以上が移り住み、最終的には1200世帯以上が暮らす被災地最大の防災集団移転団



地。こうしたイベントをきっかけに、住民同士の交流が少しずつ深まっています。

2015年12月22日 火曜日

## 第47回 女川町民弁論大会

(女川町)



「人間の命だけでなく、小さな命を守る世の中にしたい」「女川の食材を活かした料理人になりたい」。震災後2度目となる女川町民弁論大会が女川小学校で行われました。今年是一般の部も復活。将来の夢や町への想いなど一人一人力強く発表しました。

2016年1月9日 土曜日

## 子どもの権利条約フォーラム 2015 in 石巻

(石巻市)

被災地域では初開催となった「子どもの権利条約フォーラム」。「子どもが1人の主権者として、1人の人間として意見を言える環境になれば、豊かな社会になると思うんです」と、実行委員長の柴田さん。2日間にわたり行われたフォーラムでは大人と子ども、子ども同士で活発な意見交換が行われました。



2016年1月16日 土曜日

## 「高校生百貨店」～石巻から高校生バイヤー誕生!!

(石巻市)

石巻地域の高校生がバイヤーとなり、地元の魅力ある商品を発掘し販売までを手掛ける「高校生百貨店」がいよいよ始動！仙台市と大阪市で行う販売会に向け準備を進めています。第1回目のワークショップでは、あべのハルカス近鉄本店の社員による講義が行われました。



2016年2月5日 金曜日

## サッカーの力でまちづくり

(女川町)

サッカー元日本代表監督の岡田武史氏が、自身が理事を務める一般社団法人グリーンケアパートナーの復興支援企画として女川を訪問。地元のサッカーチーム「コバルトレ女川」の近江社長兼GMとの対談では、サッカーを通じた街づくりと未来づくりについて話し合いました。



# 仙台沿岸エリア

仙台市 塩竈市 名取市 多賀城市  
 岩沼市 亶理町 山元町 松島町  
 七ヶ浜町 利府町



住宅の再建等が進む荒井駅周辺地区（仙台市）



宮城県のほぼ中央に位置する仙台エリアのうち、沿岸部の市町は、仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町の5市5町です。

環境・生活関連では、震災で被災した岩沼市沿岸6地区の集団移転先である玉浦西地区で「まち開き」が開催されました。防災集団移転事業の県内第1号として工事に着手した同地区では、約300世帯、1千人が新たな生活を始めています。また、岩沼市、亶理町、松島町、七ヶ浜町、利府町では、災害公営住宅の整備が完了しています。

インフラ関連では、仙台市の東部から西部に至る多様な都市機能を結ぶ地下鉄東西線が開業しました。荒井駅など沿岸部に近い沿線では、自立再建の住宅や災害公営住宅、商業施設等の建設も進んでおり、復興の加速と地域の活性化が期待されています。また、仙台塩釜港のコンテナ貨物取扱量は、震災前の水準に回復し、平成27年度には、「北米西海岸航路」「ロシア極東航路」が新設され、企業の輸出入における利便性が向上しています。

## 仙台沿岸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	3,394人	10,550人
行方不明者	91人	1,238人
全壊	41,546棟	82,999棟
半壊	124,923棟	155,129棟

(平成28年2月29日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

	平成24年3月	平成28年2月
プレハブ住宅	14,429人	2,988人
民間賃貸借上住宅	37,108人	10,754人
計	51,537人	13,742人

(平成28年2月29日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成27年2月	平成28年2月
計画戸数	6,307戸	6,312戸
着手戸数	5,924戸	6,214戸
完了戸数	1,558戸	4,653戸

(平成28年2月29日現在)



玉浦西地区の街並み（岩沼市）



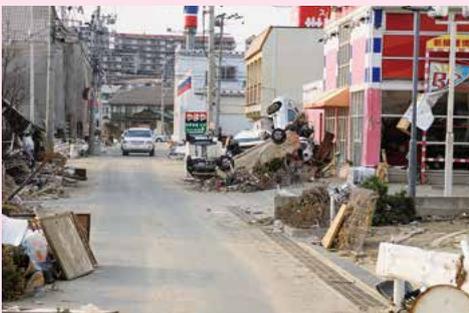
開業した地下鉄東西線（仙台市）

## 仙台沿岸エリアの定点観測

**七ヶ浜町葛蒲田浜周辺**  
津波によりコンテナなどが流れ着いた葛蒲田浜は、新しい防潮堤の工事などが大規模に進められています。



**多賀城市町前地区周辺**  
市街地では、津波が建物に遮られることで「縮流(津波が高さを増し流速を早める現象)」が起り、被害が拡大しました。



**名取市閑上漁港周辺**  
津波により甚大な被害を受けましたが、岸壁や漁港施設の復旧が進み、特産のアカガイなどの水揚げで活気を取り戻しつつあります。



**岩沼市海浜緑地公園周辺**  
津波被害を受けて一時閉園していましたが、平成27年にバーベキュー広場などがある南ブロックが復旧・再開園し、テニスコートや野球場がある北ブロックも平成29年の再開を目指しています。



**塩竈市マリゲート塩釜周辺**  
船が打ち上げられるほどの津波を受けたマリゲート塩釜と最寄りの大型商業施設をつなぐ津波避難デッキが建設中です(平成28年3月完成予定)。



**山元町新坂元駅周辺**  
津波を受けたJR常磐線がより内陸に移設されるのに伴い、新しい駅が建設中です。周辺では災害公営住宅や商店など新市街地の整備が進んでいます。



2015年3月28日 土曜日

## 浜の男気 ～ FISHERMAN JAPAN

(塩竈市)



世界三大漁場の一つ、三陸沖。しかし長年の課題であった市場の低迷と後継者不足は、大震災のあと一層深刻になっています。そこに、「漁師ってかっこいいな」と思って職業として選ぶ若者を増やそうと、若手漁師集団が立ち上がりました。

2015年4月8日 水曜日

## 復興のための発掘。 史都を支えた全国の支援

(多賀城市)



市の面積の約4分の1が遺跡である多賀城市。遺跡に当たる地域では土木工事の前に法令で定められた発掘調査が必要です。復興に伴い急増する発掘件数をこなすために、全国の自治体から専門職員の皆さんが派遣されています。

2015年4月14日 火曜日

## 震災がもたらした大きな喪失。 「震災を体験した子どものためのサポート」

(仙台市)

大切な人やものを亡くした「喪失体験」によって「悲嘆」を抱える人々に寄り添う「グリーンサポート」。震災遺児も対象とした「NPO法人子どもグリーンサポートステーション」の佐藤利憲さんが、福祉関係者のためにワークショップを開催しました。



2015年4月29日 水曜日

## 荒浜に、もう一度、 にぎわいとなりわいを

(亶理町)

阿武隈川河口の漁港・荒浜と「鳥の海」。「鳥の海ふれあい市場協同組合」のメンバーは震災の直後から、「畑を、漁を、きっと再開させる。市場も必ず復活させよう！」と立ち上がりました。4年が過ぎ、荒浜には少しずつにぎわいが戻ってきています。



2015年6月3日 水曜日

## 再起にかけた想いが結んだ強い絆。 「がんばる商店街30選」に選定！

(名取市)

経済産業省「がんばる商店街30選」に、「閑上さいかい市場」が仮設商店街ながらも選定されました。それでも相澤信幸会長は「こーやって商売ができるのは感謝、感謝しかありません。でもまだまだ先が見えないのも事実」と、気を引き締めています。



2015年6月9日 火曜日

## 復興住宅の入居者へようこそ！ 梅田町ウェルカムサロン

(仙台市)



「梅田町復興公営住宅」で暮らし始めた入居者のために、「梅田町の良いところを知って、早く地域に慣れてほしい」と町内有志が「ウェルカムマップ」を作成。内容紹介を兼ねた交流会「梅田町ウェルカムサロン」が開催されました。

「梅田町復興公営住宅」で暮らし始めた入居者のために、「梅田町の良いところを知って、早く地域に慣れてほしい」と町内有志が「ウェルカムマップ」を作成。内容紹介を兼ねた交流会「梅田町ウェルカムサロン」が開催されました。

2015年8月12日 水曜日

## 「もう一度、みんな一緒に暮らすまちを！」 玉浦西地区まち開き

(岩沼市)



「玉浦西地区」は、津波で被災した沿岸部6地区の皆さんが、避難所や仮設住宅での生活を通じてずっと守ってきた地域コミュニティを、ほぼそのまま移して誕生した新しいまちです。約1000人が暮らすこのまちで、まち開きイベントが盛大に行われました。

2015年9月2日 水曜日

## 本当の復興はここから始まる

(仙台市)

元あすと長町仮設住宅自治会長で、現在は「あすと長町コミュニティ構築を考える会」代表の飯塚正広さん。「復興公営住宅に入ってからが本当の復興の始まり。終の棲家に入ってから、心の復興が始まるんです」と語ります。



2015年9月16日 水曜日

## 宮城県庁に「東日本大震災復興情報 コーナー」オープン！

(仙台市)



宮城県庁 18 階に「東日本大震災復興情報コーナー」がオープン。復興に向けた取り組みや防災知識などを、パネル、映像、電子書籍、ゲームアプリなどで紹介しています。初日には小学生約 150 人が校外学習で訪れ、学んでいきました。

2015年10月23日 金曜日

## ありがとう！ 関上小学校 ～142年の歴史に幕

(名取市)



解体が決まった名取市立関上小学校で、小学校に感謝するイベントが催されました。地域住民やボランティアなど約 300 人が集まり、最後の窓ガラス拭きやミニ運動会、「花は咲く」の合唱などで、懐かしい校舎に別れを告げました。

2015年12月3日 木曜日

## たくさんの応援を受けて ～5年ぶりにお神輿が復活しました！

(山元町)



11月1日、山元町花釜地区の青葉稲荷神社で、待ちに待ったお神輿巡幸が復活しました。「5年ぶりにお神輿が帰ってきた！」「子どもたちの元気な声、久しぶり」。全国から駆け付けたボランティアとともに、いっぱい笑顔でお神輿を迎えました。

2015年12月23日 水曜日

## ふるさと再生 ～自力再建地区の取り組み

(名取市)



名取市小塚原北地区。震災直後は、支援物資や食料が不足しましたが、住民同士で支え合って乗り切りました。「復興のためにガンバッペ！」と地区住民が手を取り合って取り組み、ふるさとの再生が少しずつ進んでいます。

2016年1月14日 木曜日

## “食”をテーマに震災を語ろう！ 「3月12日はじまりのごはん」

(仙台市)

震災が起こったあの時、初めて食べたものは何か？ それはいつどこ？ 思い出すのが辛い、語りにくいテーマを語りやすくするために、食を通して震災体験を語り合い、記憶を保存継承していこうというイベントが開かれました。



2016年1月18日 月曜日

## 2016年1月1日の情景 ～松島湾「初日の出逢拝船」

(松島町)



小型遊覧船が桟橋ごと流されるなど震災により甚大な被害を受けた松島湾の観光。今は遊覧船も復活していて、元旦に「松島湾初日の出クルーズ」を運航。「すごくキレイで大感動！」「来年もまた乗船したい」とたくさんの声が聞かれました。

2016年2月12日 金曜日

## 「命を守る科学を学ぶ」

(多賀城市)

2016年4月、宮城県多賀城高校に全国で2例目となる「災害科学科」が誕生します。「将来は研究者や技術者、医療や介護などさまざまな分野の専門家となって、地域や世界の防災・減災のリーダーになってほしい」と小泉博校長は話します。



2016年2月18日 木曜日

## 未来へ、そして世界に届けたい私たちの感謝

(七ヶ浜町)



七ヶ浜国際村を拠点に活動する子どもたちのミュージカルチーム「NaNa5931」。2015年11月21日から2日間にわたり彼らの最新作「ゴスタン Go Astern」が上演されました。「七ヶ浜が大好き」という子どもたちのメッセージが会場いっぱいにあふれました。

# 内陸エリア

白石市 角田市 登米市 栗原市 大崎市  
 蔵王町 七ヶ宿町 大河原町 村田町 柴田町  
 川崎町 丸森町 大和町 大郷町 富谷町  
 大衡村 色麻町 加美町 涌谷町 美里町



## 内陸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	32人	10,550人
行方不明者	6人	1,238人
全壊	1,346棟	82,999棟
半壊	8,502棟	155,129棟

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

## 応急仮設住宅入居者数

	平成 24 年 3 月	平成 28 年 2 月
プレハブ住宅	282人	0人
民間賃貸借上住宅	5,148人	1,667人
計	5,430人	1,667人

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

## 災害公営住宅整備(事業着手)状況

	平成 27 年 2 月	平成 28 年 2 月
計画戸数	360戸	360戸
着手戸数	336戸	360戸
完了戸数	245戸	336戸

(平成 28 年 2 月 29 日現在)

内陸部に完成した災害公営住宅 (大崎市)

内陸エリアは、太平洋に面していない宮城県内陸部の 20 市町村です。津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度 7 を記録するなど、全半壊の住家が 10,000 棟に及ぶ大きな被害を受けました。

インフラ関連では、県の北部地域を東西に結ぶ「みやぎ県北高速幹線道路」の整備が進められています。既に加倉 IC～登米市迫町北方向が開通していますが、残る中田、佐沼、築館の各工区においても、用地買収や本格的な工事に着手しました。この道路は、被災地への復興支援や災害時の救助・救済活動を担う「復興支援道路」として位置付けられています。

教育・文化関連では、平成 27 年 4 月、震災で損壊した大崎市岩出山の国指定史跡名勝「旧有備館および庭園」の復旧工事が完了しました。旧有備館は、1677 年頃に建てられたと言われており、江戸時代の岩出山伊達家の学問所としても使われ、現在までその姿を伝えています。震災により主屋や付属屋に被害がありましたが、できる限り元の材料を再利用して復旧しました。

平成 28 年度中には、登米市で建設中の災害公営住宅が完成し、内陸部の災害公営住宅の整備が全て完了する予定です。



整備が進む「みやぎ県北高速幹線道路」(登米市・栗原市)



復旧工事が完了した「旧有備館」(大崎市)

2015年4月20日 月曜日

## 川崎町から被災地へ羽ばたくフェニックス (川崎町)



震災からの復興を願いみちのく公園から被災地へスイセンを届けようと2011年に始まった「花譜プロジェクト」。被災地へのメッセージとして2万球のスイセンで描かれたのは「フェニックス」。その後球根は、“分身”として七ヶ浜や石巻、東松島にも植栽されています。

2015年4月27日 月曜日

## 復興祈願が込められた800匹のこいのぼり (白石市)



毎年恒例の材木岩公園のこいのぼり。傷みがひどくなり不要になったこいのぼりの寄付を呼び掛けているところ、2012年には震災復興応援の手紙とともに日本各地から500匹が集まりました！今年はさらに増えて800匹のこいのぼりが風に乗って豪快にはためいています。

2015年5月8日 金曜日

## 倒壊から4年。よみがえる藩政時代の風景～旧有備館内覧会 (大崎市)



度重なる災害に見舞われ倒壊した岩出山にある国指定史跡・名勝「旧有備館および庭園」がようやく復旧しました。「復興へ向かう宮城の、そして東北中の人たちの励みになれたらうれしいです」と管理人の佐々木広行さんは話します。

2015年5月13日 水曜日

## 千年先も花よ咲け (名取市、七ヶ宿町、山形県)



名取市関上で「閉上クラフトエイド2015」が行われた4月26日、日和山に桜の苗木を植えるセレモニーを開催。実行委員会の横尾和義さんは「津波に耐えた桜の木の諦めない心の物語を広く伝え、震災の記憶の伝承と教訓を結びつける活動をし続けたい」と話します。

2015年6月15日 月曜日

## 設問作りが後世への伝承に。クロスロード合宿 (富谷町)

災害シミュレーションカードゲーム「クロスロード」の設問作り挑戦合宿が行われました。「設問を増やすことは震災の体験を伝えることにもなる。このツールを使って、子どもたちにも伝えていきたい」と参加者も熱心に取り組んでいました。



2015年7月10日 金曜日

## 栗原の大地の動きを感じよう～子どもたちのジオパーク体験～ (栗原市)

7年前の2008年6月15日に起きた「岩手宮城内陸地震」。最大震度6強、マグニチュード7.2もの巨大地震で大きく変形した栗駒山一帯の地形を、地震を伝え防災教育に役立つ貴重なジオパークとして活用する取り組みが進んでいます。



2015年7月20日 月曜日

## ジオを感じるワンデイトリップ。栗駒山日帰り登山 (栗原市)

ジオパーク構想の推進と併せて観光客を増やすため、総合的な観光情報の発信にも努めている栗原市。その要となる標高1627mの栗駒山には、登山初心者から上級者まで楽しめるコースがあり人気を集めています。



2015年10月19日 月曜日

## “未来をかなでる” 写真家 チャリティー・カレンダー・プロジェクト (栗原市、南三陸町)

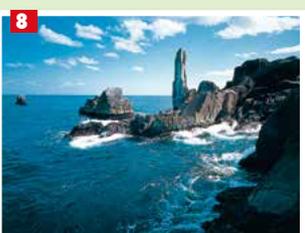
東京のデザイン・印刷会社大伸社の社員有志が立ち上げた「みちのく応援団」。東北の風景写真で綴られたカレンダーの売上を震災孤児の支援団体等に寄付してきました。5年目のテーマは「かなでる」。写真家の齋藤陽道さんたちが被災地を訪れました。



# みやぎの復興の歩み

2011.3  
～ 2016.3

## 2011(平成23年)



- 3月**
- 11日 東日本大震災(東北地方太平洋沖地震(M9.0、最大震度7))が発生  
「宮城県災害対策本部」を設置。全市町村に災害救助法を適用
  - 14日 東日本大震災の県内避難者数が最大(約32万人)に
  - 24日 東北自動車道の全面通行止め解除
  - 30日 三陸自動車道が全面復旧

- 4月**
- 7日 宮城県沖を震源とするM7.1の余震発生。栗原市と仙台市で震度6強を観測
  - 13日 仙台空港で震災後初となる国内臨時便が就航 **1**
  - 14日 塩竈市魚市場で震災後初の水揚げ **2**
  - 22日 「宮城県震災復興本部」を設置
  - 27日 天皇皇后両陛下が被災地をご訪問(南三陸町・仙台市)
  - 28日 県内初の応急仮設住宅への入居開始(石巻市・塩竈市・七ヶ浜町)
  - 29日 「震災復興キックオフデー」を宣言  
東北新幹線が全線復旧 **3**

- 6月**
- 4日 皇太子同妃両殿下が被災地をご訪問(岩沼市・山元町)
  - 20日 「東日本大震災復興基本法」が成立
  - 25日 東日本大震災復興構想会議が「復興への提言」を決定

- 7月**
- 25日 仙台空港国内定期便が再開

- 8月**
- 10日 県内初の事業用仮設施設(しおがま・みなと復興市場)が完成

- 9月**
- 1日 「東日本大震災 心の相談 ホットライン・みやぎ」を開設(仙台市)
  - 12日 「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」を設立
  - 25日 仙台空港ビルが完全復旧し、国際定期便(仙台-ソウル線)が再開

- 10月**
- 1日 仙台空港アクセス鉄道が全線で運行再開
  - 18日 「宮城県震災復興計画」を策定

- 12月**
- 1日 「みやぎ心のケアセンター」を開設(仙台市)
  - 11日 県内のライフラインが全て復旧(津波流出地域を除く)
  - 26日 応急仮設住宅の整備が完了[2万2095戸(406団地)] **4**
  - 30日 県内の全避難所が閉鎖

## 2012(平成24年)

- 2月**
- 9日 復興特区第1号「民間投資促進特区(ものづくり産業版)」を認定
  - 10日 国が「復興庁」を設置。仙台市に「宮城復興局」、気仙沼市及び石巻市に支所を設置

- 3月**
- 11日 東日本大震災から1年。各地で追悼式などが行われる
  - 19日 「東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策実施計画」を策定
  - 24日 県受託処理による県内初の災害廃棄物焼却炉の火入れ式を実施(巨理名取ブロック)
  - 26日 「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定「宮城県災害対策本部」を廃止

- 4月**
- 1日 全国初の県内全公立学校への「防災主任」、拠点小中学校への「防災担当主幹教諭」を配置

- 5月**
- 12日 天皇皇后両陛下が被災地をご訪問(仙台市)(～13日)

- 6月**
- 16日 海岸林本格復旧に向けて「海岸林再生キックオフ植樹」を開催(七ヶ浜町)

- 7月**
- 20日 県内初の「被災市街地復興土地区画整理事業」を認可(石巻市)

- 8月**
- 5日 県内初の防災集団移転促進事業「岩沼市玉浦西地区造成工事」起工式を開催
  - 20日 JR気仙沼線がバス高速輸送システム(BRT)による運行開始(気仙沼市・南三陸町・登米市) **5**

- 11月**
- 3日 「三陸沿岸道路(歌津～本吉間)起工式」を開催(南三陸町)

## 2013(平成25年)

- 1月**
- 29日 県受託処理による災害廃棄物焼却炉26基が全て稼働 **6**

- 3月**
- 11日 東日本大震災から2年。各地で追悼式などが行われる
  - 26日 東日本大震災復興基金交付金(津波被災住宅再建支援分)を沿岸15市町に交付

- 4月**
- 1日 県内初の災害公営住宅への入居開始(仙台市・石巻市・山元町) **7**  
「みやぎ鎮魂の日を定める条例」が施行

- 5月 24日 「三陸復興国立公園」を創設 **8**
- 6月 20日 県内初の防災集団移転促進事業が竣工（仙台市）
- 8月 20日 皇太子同妃両殿下が被災地をご訪問（七ヶ浜町・仙台市）  
23日 沿岸被災地で県内初の大規模太陽光発電所（メガソーラー）が完成（東松島市） **9**
- 9月 1日 水産業復興特区を活用した新たな漁業がスタート（石巻市）  
3日 「いちご団地」が完成。生産者に引き渡される（亶理町）
- 11月 3日 「慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）」が再開（石巻市）  
東北楽天ゴールデンイーグルスが日本シリーズを制覇。初の日本一に
- 12月 17日 県内初の「農村漁村地域復興基盤総合整備事業（農地整備事業）」の起工式を開催（岩沼市）  
19日 兵庫県からの寄付金を活用した「地域コミュニティ施設」第1号が完成（亶理町）



2014(平成26年)

- 2月 15日 ソチオリンピックのフィギュアスケート男子シングルで宮城県出身の羽生結弦選手が金メダルを獲得 **10**
- 3月 11日 東日本大震災から3年。各地で追悼式などが行われる  
12日 県受託処理による災害廃棄物の処理を完了
- 4月 30日 震災による県管理道路の通行止めが全て解除（石巻市・女川町）
- 7月 22日 天皇皇后両陛下が宮城県をご訪問（気仙沼市、登米市、栗原市、南三陸町）
- 9月 30日 災害廃棄物処理施設の解体撤去と用地の現状復旧並びに返地が終了
- 11月 15日 大島架橋本体工事の着工式を開催（気仙沼市）
- 12月 6日 常磐自動車道のうち、未開通の相馬－山元ICと浪江－南相馬IC間が開通（山元町） **11**

2015(平成27年)

- 3月 1日 常磐自動車道が全面開通  
11日 東日本大震災から4年。各地で追悼式などが行われる  
13日 天皇皇后両陛下が石巻市、名取市、岩沼市、東松島市をご訪問、「第3回国連防災世界会議開会式」にご臨席 **12**  
14日 国連防災世界会議と関連イベントが仙台市などで開催  
16日 「東日本大震災－宮城県の発災後1年間の災害対応の記録とその検証－」を発行  
21日 「JR石巻線」が全線運行再開し、「おながわ復興まちびらき2015春」が開催される（女川町） **13**
- 5月 30日 「JR仙石線」が全線運行再開。併せて「仙石東北ライン」も開業（石巻市、東松島市、松島町）
- 6月 15日 東日本大震災関連の資料をとりまとめた「東日本大震災アーカイブ宮城」を公開
- 7月 19日 「玉浦西まち開き」が開催される（岩沼市）
- 8月 31日 「東北医科薬科大学医学部」の新設が認可される
- 9月 1日 「石巻魚市場」が全面運用開始（石巻市） **14**
- 10月 4日 「石巻女川インターチェンジ」、「県道石巻女川インター線」開通（石巻市）  
「美田園北まちびらき」が開催される（名取市）
- 11月 3日 「石巻市被災市街地復興土地区画整理事業まちびらき」が開催される（石巻市） **15**
- 12月 6日 「仙台市地下鉄東西線」が開業（仙台市）  
14日 「南三陸病院・総合ケアセンター南三陸」が開設（南三陸町）  
23日 「女川駅前商業エリア」が開業し、「おながわ復興まちびらき2015冬」が開催される（女川町） **16**



2016(平成28年)

- 2月 1日 仙台空港の一部民営化が開始
- 3月 11日 東日本大震災から5年。各地で追悼式などが行われる

# 宮城県への支援状況

国内外からの多大なる温かいご支援に支えられて、宮城は復興への歩みを進めています。いただいたご支援に改めて感謝申し上げますとともに、ここではその一端をご紹介します。

## 活動ボランティア延べ人数

**74万377人** (H23.3.12 ~ H28.2.29)

災害ボランティアセンターの最新情報を公開中

詳しくは <http://svc.miyagi.jp>

## 他都道府県などからの人的支援数

**宮城県 / 257人** (H28.2.1 現在)

**市町村 / 969人** (H28.2.1 現在)

## 寄附金

県内の災害復旧および復興事業の財源のために活用させていただいております。

**12,817件**

**341億5,539万円** (H28.1.31 現在)

## 義援金

被災された方々に対する生活支援のために活用させていただいております。

・ 県の受付状況

**200,718件**

**268億6,214万5千円** (H28.2.29 現在)

・ 政府および義援金受付団体からの配分状況

**1,860億7,969万9千円** (H28.2.29 現在)

## 東日本大震災みやぎ子ども育英募金

東日本大震災による震災孤児などのために活用させていただいております。

**13,478件**

**91億2,239万9千円** (H28.2.29 現在)

ほかに物心両面で本当にたくさんの心温まるご支援をいただきました。

今なお被災地製品の購入やチャリティーイベント、県外避難者へのご支援など、さまざまな形でご支援いただいておりますことに心より御礼申し上げます。

義援金、寄附金の取扱いについて 詳しくは

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/kihu.html>

## 震災復興ポスター「宮城から感謝をこめて」

県では、多くの皆さまからのご支援と励ましの言葉への感謝の気持ちをお伝えするため、県内各地の復興に向けた取り組みをポスターにして、県外を中心に掲示します。また、ウェブサイトでは、ポスターに写っている方々の詳しいエピソードをご覧ください。現在、宮城県内各地で、さまざまな復興に向けた取り組みが進行中です。これからも「宮城の今」を追加して発信していきますので、どうぞご覧ください。

Webサイト「宮城から感謝をこめて」

<https://sites.google.com/site/kanshamiyagi3/>



# 被災者支援情報

information



宮城県では、東日本大震災により被災された方々の生活支援や事業再建に向けたさまざまな情報を発信しています。ぜひご利用ください。



## 宮城県ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/>

宮城県の東日本大震災に関する情報を随時更新し発信しています。主に、「震災・復興」の категорияで関連情報を公開しています。

## みやぎ被災者生活支援ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/guidebook.html>

被災された方々への生活を中心とした支援に関する大まかな内容と問い合わせ先を掲載しています。県ホームページにて閲覧・ダウンロードできるほか、支援内容に追加・修正などがあった場合は、随時更新します。



## 中小企業施策活用ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keisyosom/h27chusho-books.html>



## みやぎの農業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-nougyou-27.html>



## みやぎの林業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-ringyou-27.html>



## みやぎの水産業施策ガイドブック

<http://www.pref.miyagi.jp/site/nourinsui/gaidobukku-suisangyou-27.html>



## 放射能情報サイトみやぎ

<http://www.r-info-miyagi.jp>

宮城県内の放射線・放射能に関する情報を正確に分かりやすくお伝えしています。



## みやぎ復興プレス

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/press.html>

宮城の復興に関わる皆さまに、宮城県の復興状況や被災者支援情報など、復興に関する主な情報を月1回お届けしています。



メールマガジン版の登録はこちら！



全国の心温まるご支援のもと、宮城が復興していく姿を、復興に向けて頑張る人々やそれを支える人々にスポットを当てながらご紹介します。詳しくは宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」をご覧ください。

## ココロプレス

<http://kokoropress.blogspot.com/>

# みやぎアクセスマップ



復興の最前線・宮城にぜひお越しください!

※平成28年3月現在の情報です。更新される場合がありますので、事前にご確認ください。

発行：平成28年3月

宮城県震災復興本部(事務局：震災復興推進課)  
〒980-8570  
仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2443 FAX 022-211-2493  
E-mail fukusui@pref.miyagi.jp  
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukusui/>

写真提供：石巻市、岩沼市、大崎市、女川町、気仙沼市、塩竈市、七ヶ浜町、七郷市民センター、白石市、仙台市、多賀城市、たがじょう見聞館、名取市、東日本大震災アーカイブ宮城、東松島市、東松島市社会福祉協議会、松島町、南三陸町、山元町、亶理町(五十音順)